

スクールトピックス



模型で土砂災害の防止策を学ぶ吾妻小の児童

防災について学ぶ 吾妻小学校

吾妻小学校防災出前講座は10月7日、同校で開かれ、5年生の児童が防災について理解を深めました。県喜多方建設事務所の職員らが講師となり、実際に起きた洪水や土石流などの映像や写真を通じて、災害の恐ろしさを紹介したほか、ハザードマップを活用して自分が住んでいる地域の危険な場所や避難場所を事前に確認することの大切さを伝えました。小椋愛士さんは「災害が急に起こることが分かりました」と感想を話しました。

野口英世博士顕彰記念音楽祭

第37回野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月1日、学びいなかで開かれ、町内の各小中学校が参加し、児童・生徒たちが合唱や合奏などこれまでの練習の成果を発表しました。今年は新型コロナウイルス感染予防のため、例年より規模を縮小して開催されました。

翁島小の4、5年生は、東京五輪・パラリンピックで町がホストタウンになっているガーナ国歌など合唱し、美しいハーモニーを響かせました。



美しいハーモニーを響かせる翁島小の児童

中学生とライオンズクラブが水草回収

猪苗代湖の水質改善を図るため、町内3中学校の生徒と猪苗代ライオンズクラブは10月9日、猪苗代湖の天神浜で湖岸に漂着した水草の回収作業を行いました。これまでは東中の生徒が参加していましたが、今年は令和4年度の中学校統合を見据え、開校時に3年生となる3中学校の現1年生が参加。午後からは東中の2、3年生が回収作業に取り組みました。回収した水草は、堆肥として町内の環境美化活動に活用されます。



天神浜に漂着した水草を回収する生徒

県中学校駅伝3位入賞 猪苗代中学校

第63回県中学校体育大会駅伝競走大会は10月7日、いわき市のいわき21世紀の森駅伝コースで開かれ、猪苗代中学校男子チームが見事3位に入賞しました。

入賞報告会は10月12日、町役場で開かれ、横山永哉監督が選手一人一人を紹介した後、「生徒たちの頑張りが結果につながりました」と報告。3年生でキャプテンの高橋龍輝選手は「入賞は、家族や地域、町の皆さんに支えていただいたおかげです」と話しました。



3位入賞を報告した猪苗代中男子チームの選手ら

笑顔でこんにちは



パパ、ママと一緒にハイ、チーズ！

ののちゃんの名前には「草原や野原のように穏やかで優しい人になってほしい」という両親の思いが込められています。

岩脇 のの は ちゃん

平成30年9月生まれ
～千代田

純さん・朝子さんご夫妻の長女

踊ることが大好きなのはちゃん。お気に入りのテレビ番組を見ながらママの朝子さんと一緒に踊っています。「私がダンスに疲れて座ってしまおうと、『ちゃんと踊って』と怒ってしまっただけよ」と朝子さんは笑顔で話します。

自然の中でゆったりとした時間を過ごすのが好きという岩脇さんご夫妻のののちゃんは生後2週間でピクニックデビューをしたそうです。パパの純さんが休みの日は、近所の公園を家族で散歩したり、カメリーナ周辺で遊んだりしています。純さんは「大きくなったら一緒にキャンプに行きたいですね」と話します。

朝子さんは「将来は自分で興味のあることを見つけて楽しんでほしいです」と話し、ののちゃんを優しく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62) 2111

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

石川 諒大さん

主な活動内容：公有財産の利活用支援



地域おこし協力隊の石川諒大です。うれしいお知らせがあります。私は、公有財産の利活用支援をメインに活動しています。その一つとして、廃校になった旧山湯小学校の利活用事業を担当しています。これまで約3年間、利活用に向けて試行錯誤してきましたが、11月下旬にオープンする予定となりました。

この事業は「人の駅」として旧山湯小学校施設を活用する取り組みで、人々の流れと賑わいを取り戻すための自立型公共事業です。オープンする施設には、カフェや子どもたちの遊び場、地域の歴史を知ることができる交流場所を設けています。また、アウトドア体験や農業体験といった自然に触れる機会を多く提供します。

子どもたちの学び舎であった歴史ある小学校を利活用し、人々が集い、自然に寄り添った暮らしへの学びときっかけの場所「人の駅」として生まれ変わります。

皆さん、ぜひ遊びに来てください。お待ちしております。